

1. 活動報告

1) 2013年度 若手フェスティバル in 下田

今孝悦助教が中心となり、5月23日(木)～24日(金)に筑波大学下田臨海実験センターにて「2013年度 若手フェスティバル」を開催しました。

株式会社 IRIS 科学・技術経営研究所の Iris Wiczorek 先生による「タイムマネジメント論」・「プロジェクトマネジメント論」を受講し、大変有意義なセミナーとなりました。

23日夜の懇親会では、澁谷教授・指田教授・テニュアトラック教員・支援室職員が集い交流を深めました。

2) 総合科目 (13年4月)

▽春学期 AB 月曜 1 時限

第3回 5月7日

講義題目『火山の噴火と災害』

講義担当者：池端慶 (生命環境系)

第4回 5月13日

講義題目『対称性の科学』

講義担当者：スコット・カーナハン (数理物質系)

第5回 5月20日

講義題目『iPS細胞の実用化に向けて』

講義担当者：西村健 (医学医療系)

第6回 5月27日

講義題目『家畜とヒトの暮らし』

講義担当者：浅野敦之 (生命環境系)

3) 業績 (13年5月)

<原著論文>

Ueta M, Wada C, Daifuku T, Sako Y, Bessho Y, Kitamura A, Ohniwa RL, Morikawa K, Yoshida H, Kato T, Miyata T, Namba K, Wada A.
“Conservation of two distinct types of 100S ribosome in bacteria.”
Genes Cells. 2013 May 13. doi: 10.1111/gtc.12057.

高橋寿明、清水直人、カテリーナ フジウ、マルコス ネヴェス、市川 創作、中嶋光敏
『超遠心粉砕機による米のクライオ微分末化と各種米微分末の微細構造』

食品工学会誌 14(1)59-67 (2013年3月)

H. Wakao, K. Yoshikiyo, U. Koshimizu, T. Furukawa, K. Enomoto, T. Matsunaga, T. Tanaka, Y. Yasutomi, T. Yamada, H. Minakami, J. Tanaka, A. Oda, T. Sasaki, R. Wakao, O. Lantz, T. Udagawa, Y. Sekiya, K. Higuchi, N. Harada, K. Nishimura, M. Ohtaka, M. Nakanishi, H. Fujita.

“Expansion of Functional Human Mucosal-Associated Invariant T Cells via Reprogramming to Pluripotency and Redifferentiation..”

Cell Stem Cells Vol. 12, 546-558, (2013)

<学会発表・招待講演>

Kei Ikehata, Junichiro Ishibashi, Ryohei Suzuki and Takafumi Hirata

2013 Meeting of the Americas

演題：『Copper isotope variations of copper-rich minerals in seafloor hydrothermal deposits and igneous rocks, measured by a femtosecond LA-MC-ICP-MS』

日時：2013年5月17日

場所：Cancun, Mexico

田島 義之、荒川 洋二、池端慶、金井 啓通

日本地球惑星科学連合 2013 年大会

演題：『高原火山、富士山における苦鉄質包有物の形成過程』

日時：2013年5月21日

場所：千葉県千葉市

藤野滋弘

日本地球惑星科学連合 2013 年大会

演題：『東南海地域における約 4,000 年間の津波記録と南海トラフにおける古地震研究の今後の課題』(招待講演)

日時：2013年5月24日

場所：幕張メッセ

山田昌樹、藤野滋弘、千葉崇、後藤和久、James Goff

日本地球惑星科学連合 2013 年大会

演題：『九州地方東部沿岸低地におけるハンドコアラを用いた古津波堆積物調査報告』

日時：2013年5月24日

場所：幕張メッセ

河内敦、川田清和、北原卓、Zouhaier Bouallagui, Ahmed Wali,

Mohamed Ksibi, Sami Sayadi, 磯田博子

日本沙漠学会 2013 年度 第 24 回学術大会

演題：『産地および品種が異なるオリーブ葉抽出液によるヒト乳がん細胞抑制効果の比較』

日時：2013年5月26日

場所：広島大学

川崎 真弘、北城 圭一、深尾 憲二郎、村井 俊哉、山口 陽子、船曳 康子

電子情報通信学会、ヒューマン情報処理研究会

演題：『発達障害者のコミュニケーションにおけるリズム調整』

日時：2013年5月31日

場所：沖縄産業支援センター

2. スケジュール

<13年6月>

3 (月)

総合科目 **第7回**

講義題目『花の色の不思議』

講義担当者：水田大輝 (生命環境系)

6 (木) 11:30~

テニュアトラック普及・定着事業推進委員会及び定例会

総合研究棟 D-205 室

6 (木) 定例会終了後

審査・アドバイザー委員会

総合研究棟 D-205 室

10 日 (月)

総合科目 **第8回**

講義題目『緑の健康診断』

講義担当者：川田清和 (生命環境系)

17 日 (月)

総合科目 **第9回**

講義題目『海の生態学』

講義担当者：今孝悦 (生命環境系)

24 日 (月)

総合科目 **第10回**

講義題目『群れの科学・からだの起源』

講義担当者：新里高行 (システム情報系)

3. 若手イニシアティブレポート

文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」次代を担う若手大学人育成イニシアティブ (平成19年度~平成

23年度) プログラムを経験した「若手イニシアティブ教員」の現在の活動状況レポートです。

■総説等

恩田美紀、**丹羽隆介**

『発生タイミング制御の分子メカニズムの進化的保存性：線虫を用いた研究が明らかにしたこと』、*生物科学* 64: 229-241

■学会発表・招待講演

丹羽隆介

第70回バイオeカフェ/第54回科学技術週間参加企画

演題：『大人になるってなんだろう？~昆虫から学べること~』
(招待講演)

日時：2013年4月16日

場所：筑波大学学生会館

Yuko Shimada, Yosuke Umei, Jevgenija Maramzina, **Ryusuke Niwa**

Annual Drosophila Research Conference 2013

演題：“Neurotransmitter receptors regulate ecdysteroid biosynthesis and developmental transition in Drosophila”

日時：2013年4月4日

場所：Marriott Wardman Park Hotel、アメリカ合衆国ワシントン D.C.

Yuko Shimada-Niwa, Yosuke Umei, **Ryusuke Niwa**

2013 Ecdysone Workshop

演題：“Adaptive regulation of ecdysteroid biosynthesis through a stomatogastric nervous system in Drosophila melanogaster”

日時：2013年4月3日

場所：Marriott Wardman Park Hotel、アメリカ合衆国ワシントン D.C.

テニュアトラック普及・定着事業 News Letter **vol 17**

[平成25年6月号]

編集・発行：若手研究者運営調整部会

*当ニュース・レターは、毎月1回第1木曜日に配信いたします。
連絡先：テニュアトラック支援室